

平成28年7月

各位

八戸市東京事務所長

八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート 平成28年7月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださるようお願いいたします。

先月10日、八戸市を平成29年1月1日から中核市に指定することが閣議決定され、15日に政令公布となりました。中核市以上の都市を中心市とする「連携中枢都市圏」の形成の実現に向け、大きな一歩を踏み出します。

保健所の設置のほか、県からの業務の委譲を受け、より身近なところできめ細やかな行政サービス提供を図ってまいりますので、引き続き、ご指導、ご協力よろしくお願いたします。

また、東京・新橋で、「青森の食と八戸の地酒祭り in 新橋」(八戸酒造協議会主催)が7月31日まで開催されています。八戸市をはじめとした青森県出身者が経営する飲食店20点において、地酒や県産食材を使った料理が提供されますので、期間中、お誘いあわせの上、お立ち寄りください。

◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

八戸 7月号 レポート

平成28年6月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

【行政】

No.	項 目
1	八戸市人口23万人割れ 10年で1万人超減少
2	八戸市営バス 収入アップへ映像広告導入
3	八戸市 中核市決定 来年1月1日移行へ
4	八戸市新美術館 基本構想案公表
5	是川遺跡5500平方メートルが国史跡に追加へ
6	八戸産イチゴ「麗紅」の復権探る
7	「ドクターカーV3」7月から運用開始
8	「はっち」来館者数500万人突破！

【産業】

No.	項 目
9	八戸にアイスホッケー専門店オープン

【地域】

No.	項 目
10	バーテンダー久保さん カクテルの全国大会で優勝！
11	南郷地区観光農園開園 サクラソボ鈴なり“大豊作”
12	種差海岸でニッコウキスゲが見ごろ
13	八戸で日本さかな検定 53人が挑戦
14	八戸の里山夢食堂で「にんにくスプレッド」販売
15	八戸・よこまち類家店 38年の歴史に幕

【文化・スポーツ】

No.	項 目
16	中島美華さん 八戸で感じた思い 歌に込めCD発売
17	フジコ・ヘミングさん初の八戸公演 ～珠玉の名曲 上品な音色で魅了～
18	大崎充さん（八戸出身）の漫画「グ・ラ・メ！～大宰相の料理人～」TVドラマへ
19	日展の洋画部門 八戸市の吉田さん、丸井さん、初の入選！
20	南郷アートプロジェクト 食で高松市と交流
21	「東北六魂祭」開催 八戸三社大祭も特別参加

八戸市人口23万人割れ 10年で1万人超減少

(1) 八戸市の推計人口（5月1日現在）が23万人を割り込み、22万9994人となったことが、青森県統計分析課のまとめで分かった。国勢調査における同市人口は、旧南郷村と合併した2005年の24万4700人をピークに減少が続き、10年余りで1975年～80年の水準に戻ったこととなる。同市人口の23万人割れについて、小林眞市長は「市や県だけでなく、全国的に人口減少が進んでいる事実を受け止めなければならぬ。さまざまな地域資源を生かし、住み良い環境をはじめ、移住や交流の推進による地域活性化など、活力ある発展に全力を尽くしたい」との見解を示した。

八戸市営バス 収入アップへ映像広告導入

(2) 八戸市は6月から、市営バスの市内循環線で、走行中の車内に映像広告を流す取り組みを始めた。乗客の減少に伴い、運営収入は落ち込みが続いており、広告収入の確保で経営安定を図る。導入費用は約180万円で、初年度はこれを上回る収益を目指す。青森県内の乗り合いバスでは初めての導入で、市交通部がイベントに合わせた短期間の広告も可能。少しでも収入増につなげたいとしている。現在は10社ほどが利用しており、20～30秒のカラー映像を順番に流している。車内放送の妨げとなるため、音声は流していない。

八戸市 中核市決定 来年1月1日移行へ

(3) 政府は6月10日の閣議で、八戸市を2017年1月1日に中核市に指定する政令を決めた。青森県では、青森市に次ぐ2番目の移行で、全国の中核市は48となる。保健所を設置し、県から2千件を超える業務の移譲を受け、住民に身近な所できめ細やかな行政サービスを図る。中核市以上の都市を中心とする「連携中枢都市圏」の形成も目指しており、実現に向け大きな一歩を踏み出した。市は、今後、関係条例の制定や、事務引き継ぎなどの作業を進める。市民への広報にも取り組み意向で、9月3日には記念シンポジウム、来年1月4日には移行式を開催する予定。

八戸市新美術館 基本構想案公表

(4) 八戸市が、2019年度までの整備を目指す新美術館について、整備の方向性を示す基本構想の素案を公表した。ビジョンは「アート・エデュケーション・ファミリー～種をまき、人を育み、100年後の八戸を創造する美術館」。アートを通じて市民の感性を高め、単なる作品の展示にとどまらず、新しい文化や価値を創造する拠点を目指す。延べ床面積は3500～4500平方メートルで、現在の1446平方メートルから大幅に拡大。展示室や市民ギャラリー、収蔵庫に加え、教育普及のための研修室やミュージアムショップ、情報コーナーなどを整備する。

是川遺跡5500平方メートルが国史跡に追加へ

(5) 国の文化審議会は、国史跡の「是川石器時代遺跡」（八戸市）について、市有地約5500平方メートルを追加指定するよう、馳浩文部科学相に答申した。追加指定される市有地は、是川石器時代遺跡を構成する中居遺跡の中央部に位置する台地で、新井田川付近にある。文化審議会は指定理由として、中居遺跡の低湿地から大量の漆器、木製品、彩色土器、土偶などが発掘されていることを評価、その上で「東北地方の縄文文化を代表する遺跡として極めて重要」とした。

(6)	<p>八戸産イチゴ「麗紅」の復権探る</p> <p>八戸市で生産されるイチゴで、かつて主力だった「麗紅」。酸味、甘みのバランスが良く、一定の評価を得ていたが、果肉が柔らかく、輸送時に傷つきやすいのがネックとなり、後発品種に主役を取って代わられた。市農業経営振興センターは本年度、麗紅の作柄調査に乗り出す。麗紅生産者の関係者は「安いのでみんな作らなくなってしまうが、おいしいし、花芽が多く切れ目なく収穫することができて作りやすい。絶やしたくない品種」とセンターの取り組みに期待を寄せている。</p> <p>「ドクターカーV3」7月から運用開始</p>
(7)	<p>八戸市立市民病院が八戸工業大と共同開発し、出勤先で患者の手術を可能とした「ドクターカーV3」について、小林眞市長は、7月1日から運用を開始することを発表した。国は6月上旬、「患者の生命維持のために時間的な余裕がない場合は、医療機関以外での手術もやむを得ない」との見解を示し、市は「慎重に運用することについて認められた」と判断した。配備から半年以上を経て、全国初の取り組みがようやく動きだす。</p>
(8)	<p>「はっち」来館者数500万人突破！</p> <p>八戸市が運営する八戸ポータルミュージアム「はっち」の来館者数が6月28日、500万人を突破した。節目の来館者となったのは、同市白銀の会社員佐々木千佳さん。テレビでは小林眞市長から記念の来館者証明書や花束が贈られた。はっちは2011年2月に開館し、2012年3月に来館者数100万人に到達。その後、おおよそ1年ごとに100万人ずつ、来館者数を伸ばしている。小林市長は「市民や観光客、アーティストなどが幅広く活用している。今後も、中心街活性化の基点として機能してほしい」と期待を寄せた。</p>

【産業】

記事	概要
(9)	<p>八戸にアイスホッケー専門店オープン</p> <p>八戸市類家1丁目に、アイスホッケー用品の専門店「13SPORTS八戸」がオープンした。代表の長根さんは「八戸は競技人口も多いため、なぜ専門店がないのか」という長年抱いていた疑問が、それまで勤めていた市内の会社を辞めて店を開くきっかけになった。カナダのメーカーの正規代理店として、スライツやホッケー靴を直輸入し販売する。「直輸入なのでやや割安で提供できる。気軽にお越しいただいて、商品を見ていただければ」と長根さんはPRしている。</p>

【地域】

記事	概要
(10)	<p>バーテンダー久保さん カクテルの全国大会で優勝！</p> <p>八戸六日町で「ark LOUNGE&BAR」を営むバーテンダー久保俊之さんが、5月に横浜市で行われたカクテルの全国大会「ジュムソムンバーテンダーズボールジャパン2016」で優勝を飾った。久保さんは、日本の鏡開きをモチーフに、ウイスキーのたるに見立てた木の器でカクテルを作った。その上に木のふたをし、木づちで割るパフォーマンスを披露。抹茶やリンゴのピューレなどで作った深い緑色のカクテルをますの中に入れたグラスに盛り付け、和を感じさせた。会場を巻き込んで楽しめる点や、ウイスキーへの愛の深さが伝わったことなどが評価された。</p>

	<p>南郷地区観光農園開園 サクラソボ鈴なり”大豊作”</p> <p>南郷地区のサクラソボ観光農園が6月17日、開園した。初日はセシモニーが開かれ、招待された桔梗野幼稚園の年長児がサクラソボ狩りを体験した。広い園地をはしやぎ回り、鈴なりの実をその場で次々と頬張っていた。収穫は記録的に生育が早まった昨年よりはやや遅いが、それでも平年より1週間近く早い。園主の森勇蔵さんは「今までで一番の豊作。ぜひ足を運んでほしい」とPRしている。7月上旬まで。</p>
(12)	<p>種差海岸でニッコウキスゲが見ごろ</p> <p>三陸復興国立公園・種差海岸でニッコウキスゲが見ごろを迎えている。自然歩道「みちのく潮風トレイル」沿いには、鮮やかな黄色の花が咲き誇り、散策客の目を楽しませている。今年好天が続いたため、ニッコウキスゲは例年より2週間ほど早い5月下旬には咲き始めた。海岸沿いにはこのほか、紫色のハナシヨウバやピンクのハマナスなど初夏の花々も咲き始め、海岸沿いをかねんに彩っている。ニッコウキスゲは7月上旬まで楽しめる。</p>
(13)	<p>八戸で日本さかな検定 53人が挑戦</p> <p>全国各地の魚食文化や魚の知識を問う「第7回日本さかな検定」が6月26日、全国11会場で一斉に行われた。北東北で唯一の検定会場となった八戸市の市水産会館では、県内外の延べ53人の受検者が挑戦した。検定は4者択一のマークシート方式で全100問。難易度に応じて1～3級があり、2、3級は併願できる。3級の問題では八戸地域の郷土料理「いちご煮」に使う食材を問う問題や、「一本釣りで捕る大間産が有名な魚は」など、青森県に関する設問も複数あった。</p>
(14)	<p>八戸の里山夢食堂で「にんにくスプレッド」販売</p> <p>八戸市公会堂内の飲食店「里山夢食堂」は、ニンニクとタマネギを食バヤすくパーヌト状にした「にんにくスプレッド」を開発、店頭などで販売している。田子産のニンニクをタマネギと煮詰め、砂糖に代えて植物性由来の甘味料を使い、糖分を大幅に抑えた。トーストやヨーグルトに合う他、肉料理などにも使えるという。価格は120グラム入り800円。6本セット4,000円（いずれも税別）。全国の地方新聞社で運営するインターネット通販サイト「47CLUB（よんななクラブ）」でも購入できる。</p>
(15)	<p>八戸・よこまち類家店 38年の歴史に幕</p> <p>スーパーの「よこまち」が運営する「よこまちストア類家店」が閉店することが分かった。類家店は、よこまちが青森県南地方で現在運営している全8店舗の中で最も古く、1977年11月にオープンした。地元住民に親しまれてきたが、7月20日をもって38年間にわたる歴史に幕を下ろす。類家地区には、他にユニバー・又南類家店、コープあおもりいけ店が立地。2012年には、田向地区にイオン八戸田向シヨップセンターが進出し、地元と大手の競争が激化していた。建物と駐車場は市外の法人に貸し出し、別の商業施設になる予定。</p>
<p>【文化・スポーツ】</p> <p style="text-align: center;">記事 概要</p>	
(16)	<p>中島美華さん 八戸で感じた思い 歌に込めてCD発売</p> <p>青森県内を中心にリポーターや歌手として活躍する八戸市の中島美華さんが6月10日、CD「かたりうた（伍）」を発売した。歌手としては「なかにまみか」の名で活動。東日本大震災後の2012年から毎年CD製作とコンサートを行っている。本作では、蕪嶋神社への思いを寄せた「風よ」、5年間コンサートのファンコールで歌い続けてきた「星を見上げよう」や、名曲のオルゴールバージョンなど7曲を収録している。中島さんは「1年間、八戸で暮らしていて感じたことをそのまま歌に込めた」と語る。</p>

	<p>フジコ・ヘミングさん初の八戸公演 ～珠玉の名曲 上品な音色で魅了～</p> <p>(17)</p> <p>世界中で愛される名ピアノリストのフジコ・ヘミングさんが、ウイーンを拠点に活躍するハイドン・カルテットと共演した演奏会が6月4日、八戸市公会堂で開かれた。公演では、珠玉の名曲の数々を披露。ピアノの軽やかな音色や、弦楽器の重厚な旋律との優雅なハーモニーが、会場を温かく包み込んだ。フジコさんは終盤、熊本地震に触れ、被災地の傷ついた人たちに思いを寄せた2曲を特別に弾いた。会場を埋めた聴衆約1600人は、万雷の拍手で熱演をたたえた。</p>
	<p>大崎充さん (八戸出身) の漫画「グ・ラ・メ！～大宰相の料理人～」TVドラマ</p> <p>(18)</p> <p>八戸市出身の漫画家・大崎充さん(41)＝東京都在住＝が手掛けた漫画「グ・ラ・メ！～大宰相の料理人～」がドラマ化され、7月から放送される。「信長のシエロ」など料理人を題材にした話題作を生み出してきた漫画原作者で元公邸料理人の西村ミツルさんとタッグを組んだ意欲作で、作中には八戸屋台村や八戸せんべい汁研究所の描写も登場。首相から「官邸料理人」に任命された女性シエロの活躍と奮闘を描くグルメ漫画で、ドラマの主演は女優の剛力彩芽さん。ドラマはテレビ朝日系で7月22日金曜日午後11時15分から放送される。</p>
	<p>日展の洋画部門 八戸市の吉田さん、丸井さん、初の入選！</p> <p>(19)</p> <p>NHK文化センター八戸教室大人の絵画教室講師を務める吉田幸子さんと、元美術教員の丸井洋子さんが、国内最大の公募の総合美術展「改組 新 第2回日展」の洋画部門で新入選を果たした。同展は1907年の設立以来、「文展」「帝展」「新文展」「日展」と名称を変えつつ、常に日本の美術界をリード。2014年に現在の名称に改めた。2人の作品は青森市の県立美術館で開かれている巡回展「改組 新 第2回日展青森展」で7月10日まで展示されている。</p>
	<p>南郷アートプロジェクト 食で高松市と交流</p> <p>(20)</p> <p>南郷で住民とアーティストがふれ合いながら地域の活性化を目指す「南郷アートプロジェクト」は今年、遠方の知らない人たちと、地域ならではの食べ物を文通のように送り合っって食文化の交流をする「食通」を行う。住民参加型の取り組みで、6月24日に地域住民が高松市宛てにせんべい汁などの食材を送った。作業に参加した関係者は「高松市の方々喜んで食べてくれればうれしい。次は相手からどんな食べ物が来るのか楽しみ」笑顔で話している。高松市からの食べ物は、7月中旬に到着予定。以降も、秋、冬にそれぞれ食材を送り合う。</p>
	<p>「東北六魂祭」開催 八戸三社大祭も特別参加</p> <p>(21)</p> <p>東日本大震災による犠牲者の鎮魂と被災地の復興を願い、東北6県の代表的な祭りが一堂に会する「東北六魂祭」が、6月25～26日、青森市内で開催された。今年には県内の被災地を代表して八戸三社大祭が特別参加した。参加した「長横町絆組」の山車には、八戸市から駆け付けた全27山車組の関係者約100人が引き子として参加。「全ての組が1台を引くケースはめったにない。皆が一つになれた」と長横町組の代表は感慨深げに話していた。県内外から大勢の観客が詰め掛け、2日間で約27万人が各地の祭りを堪能した。</p>



三國地産地消の酒造まつり

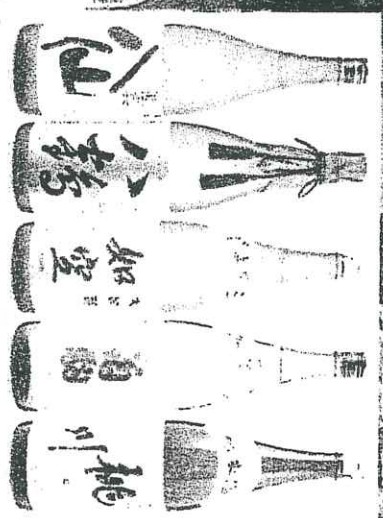
新橋

Vol.14

参加店巡りのスタンプラリー開催中

★5店まわったら八戸の地酒1杯サービス!
★さらに抽選で八戸の地酒・特産品プレゼント!!

※詳細は各飲食店様で。



【参加店元銘柄】
八戸酒造協同組合 / 知空 / 菊野 / 桃川

- 【参加飲食店様25案内】
- ①北の台所 おんしき新はし家
 - ②新橋四丁目酒場 わっつり
 - ③八戸料理 いちいの本
 - ④居酒屋ねぶた 新橋店
 - ⑤新橋シヤモロウ酒場 第一鶏舎
 - ⑥新橋シヤモロウ酒場 第二鶏舎
 - ⑦馬道み家
 - ⑧野崎酒店
 - ⑨新橋 直良
 - ⑩真菜
 - ⑪まごころ いD井
 - ⑫洋菜 いし井
 - ⑬四季のA/Y
 - ⑭SAKE BAR 蓮
 - ⑮其ノ二
 - ⑯串だおれ
 - ⑰五味亭 尾和
 - ⑱青森のおき所 やのみせ 新橋店
 - ⑲赤子 (ウー)ル
 - ⑳酒肴場 屯~TAMURO~新橋

2016年
7月1日(金)~31日(日)

7/14(木)新橋界隈は参加店元が出没予定?
7/14(木)各来店のお客様にはお引ききり。参加店元からのプレゼント有り!

主催 八戸酒造協議会 (V/V酒造株式会社 菊野 八戸酒造株式会社 菊野株式会社)
共催 三川株式会社
協力: 新橋各飲食店 (公社) 青森県観光連盟・八戸市観光課(期間酒販)(株)・(株)モトハラ
後援 (公社) 八戸市酒造協会 (公社) 八戸観光観光協会 (株) 三川 一東北新聞社 (株) 東奥日報社
(株) 青森テレビ・青森放送(株)・(株)ラジオ山一東北新聞社 (株) 東奥日報社

お問い合わせ先 TEL: 0178-58-1177
事務局: 八戸酒造協議会 TEL: 0178-58-1177

ひと旅 ふた旅、めぐる旅。青森 三國地産地消

2016.7.1~9.30

青森の虎とノ戸の地酒祭 in 新橋

参加店マップ

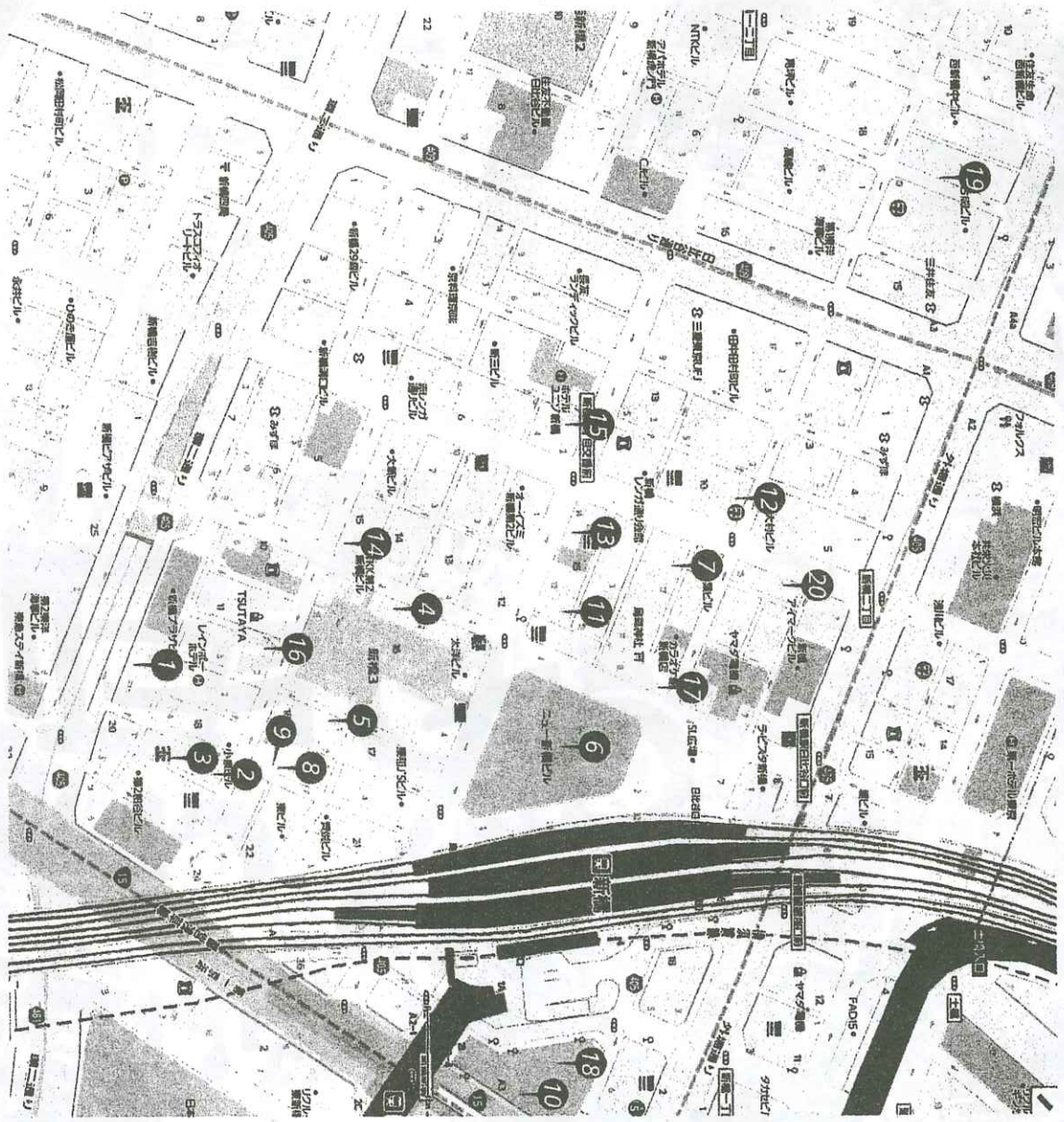
【参加店ご案内】

陸奥 虎

八戸酒造株式会社
<http://www.mutsu0000.com>

新橋

八戸酒類株式会社
<http://www.hachinohe-syuudi.com>



桃川株式会社
<http://www.momokawa.co.jp>

菊房酒造株式会社
<http://www.kikufuma.com>

娘空

【参加飲食店ご案内】

店舗情報・詳細地図はQRコードでもご覧いただけます。
 【営業時間】【定休】定休日は変わる場合もございます。

- | | | |
|---|---|---|
| <p>1 北の台所 おんじき新ばし家</p> <p>【営】17:00~23:30 【定休】日・祝 【席数】116
 〒03-6435-6601 新橋4丁目9-1 新橋フタバビル2F</p> | <p>7 馬並み家</p> <p>【営】16:00~23:30 【定休】無休 【席数】45
 〒03-5908-5131 新橋2丁目9-17 第二常盤ビル1F</p> | <p>13 四季のバル</p> <p>【営】17:00~23:00 【定休】土・日・祝 【席数】21
 〒03-6457-9934 新橋2丁目15-13 エルカンス新館ビル5F</p> |
| <p>2 新橋四丁目酒場 わつぷり</p> <p>【営】17:00~24:00 【定休】不定休 【席数】55
 〒03-3578-8070 新橋4丁目19-1</p> | <p>8 野崎酒店</p> <p>【営】17:30~23:30 【定休】無休 【席数】41
 〒03-6430-3329 新橋3丁目19-4 新井ビル1F</p> | <p>14 SAKE BAR 蓬</p> <p>【営】17:00~24:00 【定休】日・祝 【席数】8
 〒090-8331-8828 新橋3丁目15-6 村上ビル1F</p> |
| <p>3 八戸料理 いちいの木</p> <p>【営】17:00~23:30 【定休】土・日・祝 【席数】15
 〒03-6435-8699 新橋4丁目19-10 かつたビル2F</p> | <p>9 新橋 庫裏</p> <p>【営】16:00~24:00 【定休】日 【席数】29
 〒03-3438-3375 新橋3丁目19-4 桜井ビル2F</p> | <p>15 其ノニ</p> <p>【営】17:30~22:00 【定休】土・日・祝 【席数】6
 〒03-5559-1325 新橋3丁目6-14 オウチビル2F</p> |
| <p>4 居酒屋ねぶた 新橋店</p> <p>【営】11:30~23:00 【定休】無休 【席数】87
 〒03-3431-2234 新橋3丁目16-22</p> | <p>10 喜楽</p> <p>【営】17:00~23:00 【定休】日・祝
 〒03-6226-5175 新橋2丁目20-15 新橋駅前ビル1号館121</p> | <p>16 串だおれ</p> <p>【営】13:00~23:30 【定休】無休 【席数】44
 〒03-3436-0550 新橋4丁目14-1 フアンビル1F</p> |
| <p>5 新橋シヤモロツク酒場 第一聯合</p> <p>【営】17:00~23:30 【定休】無休 【席数】52
 〒03-3437-6771 新橋3丁目18-6 三越ビル1~9F</p> | <p>11 まごころ いし井</p> <p>【営】18:00~24:00 【定休】日・祝 【席数】15
 〒03-3933-0141 新橋2丁目15-10</p> | <p>17 正味亭 尾和 ※7月中旬移転予定</p> <p>【営】17:30~25:00 【定休】日・祝 【席数】24
 〒03-6205-7567 新橋2丁目7-7 U.S.ビル2F</p> |
| <p>6 新橋シヤモロツク酒場 第二聯合</p> <p>【営】17:00~23:30 【定休】第2日曜日 【席数】44
 〒03-3508-9101 新橋2丁目16-1 ニュー新橋ビル2F</p> | <p>12 洋楽 いし井</p> <p>【営】18:00~24:00 【定休】土・日・祝 【席数】92
 〒03-3933-1413 新橋2丁目10-1 カマテビル2F</p> | <p>18 青森のお台所わのみせ 新橋店</p> <p>【営】16:00~23:30 【定休】無休 【席数】70
 〒03-6252-3463 新橋2丁目20-15 緑のビルビル2F</p> |

お問い合わせ先/八戸酒造協議会(事務局:八戸酒造株式会社 TEL.0178-33-1171)
 お酒は20歳になってから、おいしく適量を。妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。